



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年8月6日

上場会社名 株式会社ニッスイ 上場取引所 東
コード番号 1332 URL <https://www.nissui.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 田中 輝
問合せ先責任者 (役職名) 経営企画IR部長 (氏名) 豊田 国大 (TEL) 03-6206-7037
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	257,283	14.1	12,435	20.9	11,670	13.7	7,439	14.3
2026年3月期第1四半期	225,485	2.2	10,281	5.7	10,268	△11.7	6,508	△11.7

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 11,493百万円(—%) 2026年3月期第1四半期 △623百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2027年3月期第1四半期	円 銭 24.53	円 銭 —
2026年3月期第1四半期	20.94	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	782,619	315,916	39.1
2026年3月期	749,509	309,943	40.0

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 305,636百万円 2026年3月期 300,121百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	14.00	—	18.00	32.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期(予想)	—	16.00	—	16.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,000,000	7.4	42,500	5.1	43,000	△0.4	29,000	5.4	95.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 ―社 (社名) 、除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2027年3月期1Q	305,265,402株	2026年3月期	312,430,277株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	1,967,113株	2026年3月期	9,158,448株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2027年3月期1Q	303,271,745株	2026年3月期1Q	310,822,700株

(注) 当社は、業績連動型株式報酬制度「株式給付信託 (BBT-RS)」を導入しており、当該信託が保有する当社株式 (期末自己株式数 1,007,526株、期中平均株式数561,372株) については期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数に含めております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断している一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 5「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・決算補足説明資料はTDnetで同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
第1四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	9
第1四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等の注記)	10
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善の動きや堅調な設備投資などを背景に、緩やかな回復基調が継続しました。一方で、中東情勢をはじめとする地政学リスクの高まりや、資源価格及び為替相場の変動、継続的な物価上昇などにより、先行き不透明な状況が続きました。

世界経済（連結対象期間1－3月）については、米国では設備投資に支えられ景気は底堅く推移した一方、個人消費の伸びに鈍化がみられました。欧州では米国の関税政策などが輸出の重石となり、景気はやや低調な動きとなりました。

当社グループでは、中期経営計画「GOOD FOODS Recipe 2」にて「海外事業の成長」「養殖事業の高度化」「不採算事業のターンアラウンド」を掲げ、事業ポートフォリオの強化を推進しています。

当第1四半期連結累計期間においては、食品事業が原料価格上昇等の影響を受けたものの、水産事業及びファイン事業が堅調に推移し、これをカバーしました。

このような状況下で当第1四半期連結累計期間の営業成績は、売上高は2,572億83百万円(前年同期比317億97百万円増)、営業利益は124億35百万円(前年同期比21億53百万円増)、経常利益は116億70百万円(前年同期比14億2百万円増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は74億39百万円(前年同期比9億30百万円増)となりました。

(単位：百万円)				
	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益
2027年3月期 第1四半期	257,283	12,435	11,670	7,439
2026年3月期 第1四半期	225,485	10,281	10,268	6,508
前年同期増減	31,797	2,153	1,402	930
前年同期比	114.1%	120.9%	113.7%	114.3%

セグメント別の概況は次のとおりであります。

(単位：百万円)						
	売上高	前年同期増減	前年同期比	営業利益	前年同期増減	前年同期比
水産事業	107,677	21,272	124.6%	5,437	2,287	172.6%
食品事業	138,217	9,514	107.4%	8,437	△365	95.9%
ファイン事業	3,871	758	124.4%	523	501	2,348.5%
物流事業	4,212	138	103.4%	522	△38	93.1%
その他(注)	3,304	113	103.6%	175	120	322.7%
全社経費	—	—	—%	△2,661	△352	115.3%
合計	257,283	31,797	114.1%	12,435	2,153	120.9%

(注) 「その他」：エンジニアリング（工場・設備機器の企画・設計・施工等）事業、船舶運航事業等。

(1) 水産事業

水産事業につきましては、漁撈事業、養殖事業、加工・商事事業を営んでおります。

<当第1四半期連結累計期間の概況>

水産事業では売上高は1,076億77百万円(前年同期比212億72百万円増)となり、営業利益は54億37百万円(前年同期比22億87百万円増)となりました。

漁撈事業：前年同期比で増収、増益

【日本】

・アジの漁獲が堅調だったことに加え、イワシ・サバの販売価格上昇もあり増収・増益となりました。

養殖事業：前年同期比で増収、減益

【日本】

- ・マダラでは飼料価格上昇の影響があったものの、ブリ・ギンザケの販売数量が増加し増収・増益となりました。

【南米】

- ・トラウトの養殖成績や販売は堅調に推移したものの、新規連結子会社が損益改善の途上にあり増収・減益となりました。

加工・商事事業：前年同期比で増収、増益

【日本】

- ・ブリの販売数量増加や、鮭・魚油・ミールの販売価格上昇等により増収・増益となりました。

【北米】

- ・加工事業ではマダラ・カニの販売数量増加及び販売価格上昇、商事事業では鮭の販売数量増加やマダラの販売価格上昇が寄与し増収・増益となりました。

【欧州】

- ・販売数量は減少したものの、販売価格が堅調に推移したことに加え、為替影響もあり増収・増益となりました。

(2) 食品事業

食品事業につきましては、加工事業及びチルド事業を営んでおります。

＜当第1四半期連結累計期間の概況＞

食品事業では売上高は1,382億17百万円(前年同期比95億14百万円増)となり、営業利益は84億37百万円(前年同期比3億65百万円減)となりました。

加工事業：前年同期比で増収、増益

【日本】

- ・原料高などを背景とした価格改定の効果はあったものの、販売数量の減少に加え、すりみ原料価格の上昇もあり増収・減益となりました。

【北米】

- ・家庭用では、新工場の償却負担増加などの影響があったものの、クラブストア向けの販売等が堅調に推移し増収・増益となりました。業務用では、販売が堅調に推移し増収となったものの、原料価格上昇の影響を受け減益となりました。この結果、全体では増収・減益となりました。

【欧州】

- ・家庭用では、主力のチルド商品を中心に販売が堅調に推移し、工場増設に伴う償却負担増加や原料価格上昇の影響があったものの、為替影響も寄与し増収・増益となりました。業務用では、販売が好調に推移し増収・増益となりました。

チルド事業：前年同期比で減収、減益

- ・前年度のコンビニエンスストアの販売促進施策の反動もあり減収・減益となりました。

(3) ファイン事業

ファイン事業につきましては、医薬品原料、機能性原料(注1)及び機能性食品(注2)などの生産・販売を行っております。

＜当第1四半期連結累計期間の概況＞

ファイン事業では売上高は38億71百万円(前年同期比7億58百万円増)となり、営業利益は5億23百万円(前年同期比5億1百万円増)となりました。

- ・医薬品原料やサプリメント向け機能性原料の国内販売が堅調に推移し増収・増益となりました。

(4) 物流事業

物流事業につきましては、冷蔵倉庫事業、配送事業、通関事業を営んでおります。

＜当第1四半期連結累計期間の概況＞

物流事業では売上高は42億12百万円(前年同期比1億38百万円増)となり、営業利益は5億22百万円(前年同期比38百万円減)となりました。

・人件費の上昇などによるコスト増の影響を受け減益となりました。

(注1) サプリメントの原料や乳児用粉ミルク等に添加する素材として使用されるEPA・DHAなど。

(注2) 主に通信販売している機能性表示食品「ごま豆乳仕立てのみんなのみかたDHA」、特定保健用食品「イマークS」などの健康食品。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(単位：百万円)

	2026年3月期	2027年3月期 第1四半期	増減
流動資産	376,084	399,482	23,397
(うち 棚卸資産)	224,278	223,436	△842
固定資産	373,425	383,137	9,712
資産合計	749,509	782,619	33,109
流動負債	276,416	285,583	9,167
固定負債	163,149	181,119	17,969
負債合計	439,566	466,703	27,136
純資産合計	309,943	315,916	5,972

資産

資産合計は前連結会計年度末に比べて331億9百万円増の7,826億19百万円(4.4%増)となりました。

流動資産は233億97百万円増の3,994億82百万円(6.2%増)となりました。現金及び預金が100億45百万円増加、売上増加などにより受取手形及び売掛金が98億89百万円増加したことが主な要因です。

固定資産は97億12百万円増の3,831億37百万円(2.6%増)となりました。設備投資などにより有形固定資産が72億24百万円増加したことが主な要因です。

負債

負債合計は前連結会計年度末に比べて271億36百万円増の4,667億3百万円(6.2%増)となりました。

流動負債は91億67百万円増の2,855億83百万円(3.3%増)となりました。短期借入金が167億79百万円増加した一方で、引当金が29億87百万円減少、支払手形及び買掛金が29億19百万円減少したことが主な要因です。

固定負債は179億69百万円増の1,811億19百万円(11.0%増)となりました。長期借入金が160億23百万円増加したことが主な要因です。

純資産

純資産合計は前連結会計年度末に比べて59億72百万円増加し、3,159億16百万円(1.9%増)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益を74億39百万円計上したこと、剰余金の配当を54億66百万円行ったこと、円安の影響により為替換算調整勘定が24億37百万円増加したことが主な要因です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

売上高は、為替前提の見直しや水産事業の堅調な推移を踏まえ、前回予想を上方修正いたします。営業利益は、中東情勢によるコスト増、食品事業における原料価格上昇、南米養殖事業の苦戦などの減益影響を織り込みつつ、国内漁業・海外商事などにより補う見込みであるため、前回予想を据え置いております。なお、これらを踏まえセグメント別業績予想を修正しております。

2027年3月期 通期連結業績予想数値の修正（2026年4月1日～2027年3月31日）

	(単位：百万円)	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	前回発表予想 (A)	980,000	42,500	43,000	29,000	95.62円
	今回発表予想 (B)	1,000,000	42,500	43,000	29,000	95.62円
	差額 (B－A)	20,000	0	0	0	
	差額率	2.0%	0	0	0	
参考	前期実績 (2026年3月期) (C)	931,265	40,430	43,187	27,517	90.17円
	前期実績差額 (B－C)	68,735	2,069	△187	1,482	
	前期実績比	107.4%	105.1%	99.6%	105.4%	

2027年3月期 セグメント別業績予想数値の修正（2026年4月1日～2027年3月31日）

				(ご参考)	
(単位：百万円)	前回発表予想 (A)	今回発表予想 (B)	差額 (B－A)	前期実績 (2026年3月期) (C)	前期実績差額 (B－C)
売上高	980,000	1,000,000	20,000	931,265	68,735
水産事業	407,400	422,400	15,000	380,151	42,248
食品事業	520,600	525,600	5,000	500,985	24,614
ファイン事業	17,400	17,400	0	16,982	417
物流事業	17,700	17,700	0	16,615	1,084
その他	16,900	16,900	0	16,531	368
営業利益	42,500	42,500	0	40,430	2,069
水産事業	21,600	21,900	300	17,770	4,129
食品事業	27,800	27,500	△300	29,632	△2,132
ファイン事業	1,850	1,850	0	839	1,010
物流事業	2,600	2,600	0	2,410	189
その他	150	150	0	499	△349
全社経費	△11,500	△11,500	0	△10,720	△779

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,222	30,267
受取手形及び売掛金	115,669	125,558
商品及び製品	112,832	113,972
仕掛品	49,355	50,877
原材料及び貯蔵品	62,090	58,586
その他	16,453	20,760
貸倒引当金	△539	△541
流動資産合計	376,084	399,482
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	91,873	90,116
その他（純額）	126,584	135,565
有形固定資産合計	218,458	225,682
無形固定資産		
のれん	4,051	3,876
海面使用权	21,033	21,479
その他	12,900	12,768
無形固定資産合計	37,985	38,124
投資その他の資産		
投資有価証券	35,003	35,440
関係会社株式	54,289	56,026
長期貸付金	9,700	9,691
退職給付に係る資産	281	284
繰延税金資産	3,314	2,962
その他	15,739	16,268
貸倒引当金	△1,348	△1,343
投資その他の資産合計	116,981	119,330
固定資産合計	373,425	383,137
資産合計	749,509	782,619

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	78,481	75,561
短期借入金	128,003	144,782
コマーシャル・ペーパー	5,000	9,000
未払法人税等	6,170	3,669
未払費用	31,678	30,876
引当金	5,235	2,248
その他	21,846	19,444
流動負債合計	276,416	285,583
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	120,934	136,958
引当金	182	366
退職給付に係る負債	6,281	6,497
その他	25,751	27,298
固定負債合計	163,149	181,119
負債合計	439,566	466,703
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,685	30,685
資本剰余金	21,573	16,767
利益剰余金	190,353	192,325
自己株式	△6,571	△1,715
株主資本合計	236,041	238,063
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16,581	16,926
繰延ヘッジ損益	70	1,069
為替換算調整勘定	48,224	50,662
退職給付に係る調整累計額	△796	△1,085
その他の包括利益累計額合計	64,080	67,572
非支配株主持分	9,822	10,280
純資産合計	309,943	315,916
負債純資産合計	749,509	782,619

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位: 百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	225,485	257,283
売上原価	187,754	214,706
売上総利益	37,730	42,576
販売費及び一般管理費	27,448	30,141
営業利益	10,281	12,435
営業外収益		
受取利息	132	145
受取配当金	155	136
持分法による投資利益	441	1,441
助成金収入	21	57
雑収入	126	107
営業外収益合計	877	1,888
営業外費用		
支払利息	712	1,932
為替差損	139	289
雑支出	39	429
営業外費用合計	891	2,652
経常利益	10,268	11,670
特別利益		
固定資産売却益	22	79
特別利益合計	22	79
特別損失		
固定資産処分損	141	71
減損損失	—	18
投資有価証券評価損	4	—
関係会社株式売却損	—	207
災害による損失	181	—
特別損失合計	327	298
税金等調整前四半期純利益	9,963	11,451
法人税、住民税及び事業税	2,508	2,878
法人税等調整額	427	541
法人税等合計	2,936	3,419
四半期純利益	7,027	8,032
非支配株主に帰属する四半期純利益	518	592
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,508	7,439

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	7,027	8,032
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	356
繰延ヘッジ損益	△783	517
為替換算調整勘定	△5,951	1,882
退職給付に係る調整額	115	△263
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,031	968
その他の包括利益合計	△7,651	3,461
四半期包括利益	△623	11,493
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,159	10,931
非支配株主に係る四半期包括利益	536	561

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の消却)

当社は、2026年5月14日開催の取締役会決議に基づき、2026年5月28日に自己株式の消却を実施しました。この結果、当第1四半期連結累計期間において、自己株式及び資本剰余金がそれぞれ5,217百万円減少しております。

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合 計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	水産事業	食品事業	ファイン 事業	物流事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	86,404	128,703	3,112	4,074	222,295	3,190	225,485	—	225,485
セグメント間の内部売上 高又は振替高	4,298	1,326	100	3,501	9,227	161	9,388	△9,388	—
計	90,703	130,029	3,213	7,575	231,522	3,351	234,873	△9,388	225,485
セグメント利益	3,150	8,802	22	561	12,536	54	12,590	△2,308	10,281

(注) 1. 「その他」は、報告セグメントに含まれない船舶の建造・修繕、運航、エンジニアリング等が対象となります。

2. セグメント利益の調整額△2,308百万円には、セグメント間取引消去48百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△2,356百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合 計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	水産事業	食品事業	ファイン 事業	物流事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	107,677	138,217	3,871	4,212	253,979	3,304	257,283	—	257,283
セグメント間の内部売上 高又は振替高	3,846	1,533	97	3,742	9,220	164	9,384	△9,384	—
計	111,524	139,750	3,968	7,955	263,199	3,468	266,667	△9,384	257,283
セグメント利益	5,437	8,437	523	522	14,921	175	15,096	△2,661	12,435

(注) 1. 「その他」は、報告セグメントに含まれない船舶の建造・修繕、運航、エンジニアリング等が対象となります。

2. セグメント利益の調整額△2,661百万円には、セグメント間取引消去23百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△2,684百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	6,212百万円	7,573百万円
のれんの償却額	147 "	219 "